

2月運営委員会

平成2年2月13日(月)
19:30～ 中央公民館
司会：神長副会長

※出欠確認(出席 名:欠席 名)
※会長挨拶
議 題

1 協議・報告事項

(1) 専門部

ア 研修部

1月29日(日) 市民かるた大会の振り返り
2月19日(日) 第5回部会懷疑について

イ 広報部

すくらむ79号について
3月4日(土) 第10回部会会議について

ウ 夏のつどい部

第33回オーバーナイトハイクに向けて

エ こどものつどい部

12月18日(日) 第9回部会会議報告
2月12日(日) 第10回部会会議報告

2 学区報告

3 連絡事項

- ・平成28年度 会計監査について
- ・役員変更について
- ・東葛飾地区少年の日・地域の集い大会(柏主催)について
- ・柏市相談員連絡協議会会則の追記について

4 その他

5 行政より

6 今後の予定

2月26日(日)	会計監査	中央公民館 茶室	10:00～
3月 6日(月)	3月執行部会	中央公民館	19:30～
3月13日(月)	3月運営委員会	中央公民館	19:30～
4月 3日(月)	4月執行部会	中央公民館	19:30～
4月10日(月)	4月運営委員会	中央公民館	19:30～
4月16日(日)	平成29年度定期総会	青少年センター	13:30～

第19期青少年相談員 平成28年度研修部

第5回部会レジュメ

平成29年2月19日(日)
青少年センター 会議室① 9:30～11:30

1. 来年度研修部活動計画について
 - ・グループ分け（副部長による研修計画）

 - ・全体研修会開催時期・場所・内容・回数

2. 研修部の備品確認
 - ・センター事務室に貸出名簿のあるもの

 - ・相談員管理のもの

3. 今後の予定
 - 4月16日(日) 定期総会
 - 第1回部会

17.01.29

広報部長 黒岩

第10回 広報部会 アジェンダ

1. 第10回広報部会 2017年3月4日 13:00-14:00 創作室開催予定

2017年度の広報部方針確認

<基本方針>

連協活動（夏つど、こどものつどい、研修会）及び、20学区の活動状況等、青少年相談員の活動を内外に広く周知する。できるだけ子どもたちの声・笑顔を掲載したい。次回は参加してみたいと思うような紙面へ。

2017年度のすくらむ発行計画案

今年と同様3回発行を提案 「ONH 特別号」「わんぱく祭り特別号」「学区活動特別号」

「学区活動特別号」は年間一覧表などで顕彰し、次期相談員募集の際に使えるようにしたい。

2017年度の重点目標案

すくらむの一部カラー化

学区活動をもっと顕彰したい。（広報部員が取材できるように、事前のアナウンスをお願い）

→広報部の他学区の取材結果を、部員の視点から記事や写真掲載してみる。

編集作業をもっと分散したい。

すくらむ最終版の承認プロセスの簡略化。

HP更新のスピードアップ

2017年度の広報部会案

2. 学区活動のHP更新方針

「学区広報部員が責任を持って、学区内で更新する（HP更新までが学区活動です）」

「相談員が2～3人集まったら、打合せでも(節度があれば)打上げ等の飲み会でも、学区活動なので、掲載して構いません。」

「青少協や他団体主催でも、相談員として参加している場合は掲載すること」

以上

平成28年度 第9回 夏のつどい部会 議事録

平成29年1月28日(土)

於 : 柏市中央公民館 集会室1

司 会 : 佐藤

配布物 : 前回議事録、担当別検討事項一覧、32回役割分担表、コース変更の提案

1・あいさつ

◇嶋田会長より◇

みなさん、明けましておめでとうございます。夏つどのみなさんの顔をみるといよいよ始まると実感します。33回オーバーナイトハイクもよろしくお願いします。

◇岩渕部長より◇

明けましておめでとうございます。いよいよ33回が始まります。
32回の検討事項の対策をみなさんと協議して33回に繋げていきたいと思います。
よろしくお願いします。

2・報告・協議事項

(1) 担当別検討事項について

- ・同行 ・休憩所 ・バイク ・救護 ・本部救護 ・本部
学区に持ち帰り十分周知のこと

(2) 33回 ONH の夏つど部員役割分担について(参考:32回 ONH 役割分担表)

- ・各学区現状の確認
誰が歩けるか、どこを担当できるか、学区内で十分協議を
特にバイクが足りません~~~~>< バイク持っている&乗れる方はぜひぜひ
→次回部会で、夏つど部内の役割分担決定

(3) コース変更の提案について

- ・柏の葉公園から柏の葉キャンパス駅方向への迂回経路をカット
☆変更の必要性…・誘導箇所が増えバイクが間に合わない
・ギリギリのスケジュールに余裕を持たせる
☆バイク誘導 (重要誘導地点の確認、交差点の数 など)
☆同行 (参加者の疲労、後半の救護の増加への対応 など)
☆休憩所の展開 (コース変更によるスケジュール調整 など)
・次回部会后、希望者で十余ニセブンイレブンから高田ファミマまで歩く予定
歩ける服装でご参加ください
※現時点ではコース変更はあくまで提案。4月の下見後のコース決定にて正式決定

3・確認事項

次回部会 3月11日(土) 9:00~ 青少年センター 研修室

- ・33回 ONH 相談員出欠確認書
学区上限の持ち帰り (←4月16日1回目部会で回収)
- ・夏つど部員担当決め
- ・部会后、十余ニセブンイレブンから高田ファミマまで歩く予定

4・その他

＜担当別検討事項一覧（改善点）＞

20170128

発信元	事象	担当すべき部署						対処策（案）
		本部	同行	バイク	休憩所	救護車	救護	
同行	ゴール後（受付～写真撮影～閉会式～解散）の段取りをもっと良くしてほしい	◎	◎		◎			担当間で協議、手順を周知。同行も十分理解する写真撮影を体育館内で行う等、広報と協議
	休憩所に塗るタイプの消炎剤とテーピングを準備して欲しい				◎		◎	安価なものを増量して設置。同責も携帯塗るタイプは救護と協議
	市立柏以降の狭い歩道で車道を歩く生徒がいたが、それを注意しない同行協力者に憤りを感じた。	◎	◎	◎				下見や同行分科会で十分伝える学区会で確認
	子供達の体力の平均値から言えば、もう1～2kmくらい短くても良いかも	◎						十余二からゴールまでを変更して短くしてみては？（柏の葉公園直進案）
	明け方、すれ違う人にあいさつできればいいのと思う		◎					ご近所迷惑にならない程度に
	休憩所で塩分、水分を取って下さいと言われたが、配る塩分がなかった	◎			◎		◎	ドリンクの種類や順番の入替、タブレットを飴に変更する等、救護と休憩所で協議
	靴の反射テープはほとんど見えなかったので、切ったり分けたりする手間を考えると意味がないのでは	◎	◎					廃止の方向で
	ゴールのジュースとパンの種類を少なくして欲しい	◎			◎			検討するが、1種類だと食べられない子もいるといけないので2種類に。ゼリー系も検討が必要か
	同行協力者を増やすことはできないか 安全性が向上するのではないか	◎	◎					数が多いと安全が向上するわけではない（質の問題） 参加上限の為に協力者を無理に増やさない
	テンションが上がり会話も弾んでくる中、住宅街を静かに歩かせるのが大変でした		◎					同行分科会で協議する （今回は苦情なし）

	ほかの担当のとの打ち合わせ時間がもっとほしい	◎	◎	◎	◎	◎	◎	責任者会議を行い情報を共有後、分科会で報告 夏つど以外の同責も部会へ参加してもらう
	夏つど部員の出てくる回数が多すぎ。 分科会方式にしてもう少し負担を減らせないか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	努力する、、、(部会は減らないかも。。。 そのタイミングでないとできない作業が多いので
	出発時の待ち時間が長く、どうにかならないかと思った	◎	◎		○			必要があつての待機時間であり、全グループがそろって 出発させるときに出発させていることを理解してほしい。
救護車	本部との連絡が行きちがうときがあった	◎					◎	マニュアルを徹底する
	斜め横断は危険では？	◎		◎			◎	必要な(やらざるを得ない)場所もあるので、 安全面も含めて十分協議する。他部署との協議を設ける
	コースについて、各相談員の意識が高いため、 看板の取り付け箇所をへらせるのでは	◎					◎	検討する。救護担当内でも十分議論してほしい 設置数を厳選する方向で。
本部救護	テーピングが足りず、最終チェックがあまかった					◎	◎	十分準備する
	本部救護が3時すぎより大忙しだったとのこと、せめて3人態勢で	◎					◎	その方向で
搬入搬送	買い物は一か所に	◎						極力一か所にしたい
	休憩所の撤収連絡がほしい	◎			◎			次回の手順に組み込みたい

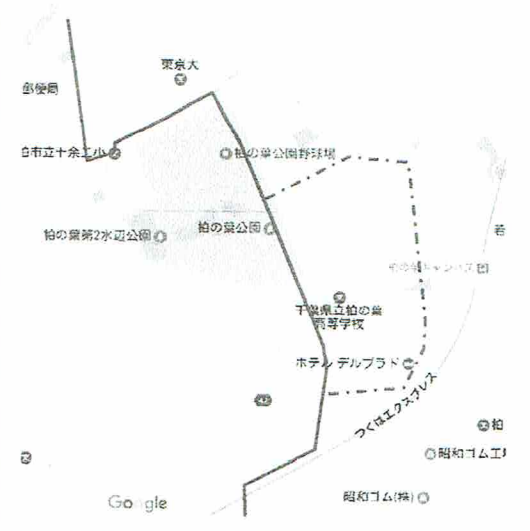
休憩所	担当（とくに男手！）をもう少し多めにしてほしい	◎			◎		努力、検討する。 学区でもスタッフを出すときに協力してほしい。
	雨プログラムのシミュレーションも必要だった	◎	◎		◎	◎	マニュアル化し周知
	同行者も疲れていてとてもテーピングに回れる状態ではない。 休憩所に救護担当がいたらいいのでは	◎			◎	◎	女性担当が必要 人数の問題もあり難しいが、検討したい
	各休憩所で何を配り、常備し、また、同行責任者が何を持っているのかしておかねばと思った	◎	◎		◎		情報としては出している。 他部署の情報も十分チェックするよう徹底させたい （責任者会議→分科会）
	ごみの分別が徹底できてなかった						事前に周知させる
	しおりの製本が、人数はいたものの 指揮系統ができていなくて大変だった	◎			◎		担当を決め、十分準備する
	物品のケースをもう少し整理して、 わかりやすく使いやすくしたほうが						そのように努力する。まずは手持ちのケースの整理から
	出発受付を校舎玄関前にしたが、受け付けテント前に先頭を並 ばせると、最後尾のスタート受付の手続きに時間がかかるため 場所の検討が必要	◎			◎		各休憩所の出発方法は各々の事情によっても違ってく る。 要検討
	親睦を図りながら作業をすることは良いが、 もう少し作業の時間を詰められないか	◎					努力する
	「通し」「早番」の人の食事時間の確保が難しい。			◎			タイムテーブルを確認し、検討する 各自手が空いた時に
	10分前、5分前コールの声掛けのタイミングに戸惑った 「出発時間」は体育館を出る時間ではないの認識が足りなかつ た	◎			◎		出発時間、10分前点呼、5分前出発受付を プラカード等を提示して見て解るようにしたい
	参加者名簿の人数で、「欠席」の数に誤差がありあせった。 あらかじめ欠席と、当日欠席の数があって、 違ってよかったらしいが把握が難しい	◎	◎		◎		フォームの変更を含め、検討する 1枚で収まるように

	男子更衣室もあったほうがよい	◎			◎		設置の方向で (学校と協議)
	女子がトイレで着替えるので時間がかかる						パーテーションで仕切る等、更衣室を利用しやすいように変更する。市柏は更衣室があるので誘導する
	夏つどさんの負担が心配。もっと分担してくれて大丈夫です	◎					担当業務を見直し、夏つど部員以外にふれる部分についてはふりたい
	可否判断が16時は遅いのでは。もう動き出してる人もいます	◎					検討する
	雨降りや注意報のなか今回決行したことは、あまり良いことではないのではないのでしょうか	◎					検討する。52回の決行は、安主や大候の回復を検討したうえでの決行であり、安易に決断したわけではないということを理解願いたい
	Bは参加者の割に、トレイの数がすくないと感じた	◎			◎		十余二は増やせないなので、休憩時間延長を検討
	十余二の出発受付の位置(体育館内のほうがよい)	◎			◎		検討する
	ゴールをくぐった瞬間の、横断幕の向きがあっち側！こちらにゴールするのだから、こちら向きにも文字があったほうが盛り上がる	◎			◎		両面文字ありを新調する
	センター帰還後の段取りができていなかった	◎			◎		事前協議、分科会で段取り確認
バイク	体育館に応援の先生が訪れてきた。不審者対応の面でもお断りしたほうが	◎					外部対応として、十分協議する 校長先生、説明会等で重ねてお願いする
	生徒が最後尾にいて、同行者がついていないときがあった		◎	◎			分科会や部会で十分協議する
	参加者たちと一体感が持てない	◎			◎		検討する。 隊列を支えてるのは自分たちだという誇りをもって！

	(同行者の？バイクの？) コース間違いが多かった			◎					下見や部会、全体会で十分協議する 間違いやすい箇所をピックアップして重ねて注意させる
本部	学区解散後の「解散連絡」が徹底されていない	◎							同行責任者に徹底させる
	学区説明会への親の参加について	◎							なし
	参加者名簿、同行者一覧の書式の改善 (キャンセルや参加人数などのすり合わせの煩雑化を避けるため)	◎							1枚に収まるように改善の方向で
	責任者会議を持つべきだった	◎							そのようにしたい
	・可否判断 ・中止 ・途中中止 ・避難 など、 もしものときの判断や対応の協議	◎							専門部所を立ち上げ、十分協議しマニュアル化する
その他	同行責任者を最後尾に配置したのはどうだったか ・全体が見渡せて良かった ・フリーで動けたほうがいい (救護連絡に手間がかかる、学区に間があいてもわかりづらい)								有効だと思われる。 同責がすべてを背負うのではなく学区内で十分それぞれの役割を理解する
	大堀川で隊列を整えるのは？ ・水分補給できて良かった ・学区がまとまったら出発したい ・先の信号で詰まるので必要ない								学区をまとめる機会としては有効。 そのあとも信号で離されるのでグループ全体で待つ必要はない

同行	同行者以外の人声掛けができていた テーピング講習がとても役立った バイク隊の誘導が的確で安心して歩行できた 同行責任者として最後尾を歩いていたので相談員や子供たちの様子がよく見えた 救護要請が少なく、歩きやすいペースだったと思う。 出発や休憩時に次に注意するべき内容を直前に確認していたことが効果があった。 雨天の場合のカップ用袋を用意しており、事前準備がよく想定されていた。 救護依頼の際、事前準備されたエリア分けの紙でスムーズに場所を伝えられた 休憩所の担当の皆さんがテキパキ指示をしてくれて助かった 何回も下見して歩行力を高められた 子供の頑張りがたくさん見られ、お手伝いができてよかった。 参加する生徒が楽しみにしていたONHが開催できたことにつきます
救護	混乱なく落ち着いて救護ができた。本部の指示がよかった 外部協力の看護師さんも興味をもって来て来年もぜひ参加したいとのことだった
本部救護	今年は時間担当と近くで作業することで、隊列の位置を迅速に把握でき 救護車移動や隊列戻しの場所指定に有効だった 要請と連絡の電話口をわけたことにより 各担当の役割がはっきりし、繁忙時も混乱せずに対応できた ホワイトボードの特大大マップ上で、マグネットとメモで救護車の位置と 現在の任務を展開することにより、配車が直感的にできた
休憩所	ペットボトルのキャップをわけるようにと言われたがビニール袋で対処できた 担当の人がそれぞれの仕事を責任をもってやってくれた 部長が盛り上げ上手、話も面白かった 今期初めての開催ということで、各自が危機感を持って、事前準備を入念に、 打ち合わせを綿密にしていた 学校の電気がみなついていて、学校側の協力体制がうかがえた 初めてのことでわからないことだらけだったけど、とても楽しく活動できた 学区の違う人でも、「成功させたい」という思いをひとつにして協力しあって それぞれにしごとをやりとげられた 設営では前もって決めていた担当箇所をスムーズにできた。 早めに終わった箇所は手伝いするなりして早めの設営完了することができた。 また、撤収の時も早めに撤収することができました。 終了予定時間の5分前行動を決めていたので、それが良かったかなと思います。 富勢東設置したあとすぐに撤収は誰が何を片付けるか再確認をして、 とても早く撤収・移動 ができ、十余二での時間の余裕に繋がったと思う 学区の地理や特性がこどもの姿に反映されてるなと感じた。 ハードだけでなくソフト部分の存在が大きいと感じた 何年も一緒にやってきたかのようなチームワークでの作業でした
バイク	ルート説明資料が良くできていた。 予行走行が活かされた 当日の確認も活かされた。 メンバーのフォローが助かった。

第33回コースの協議

第28・29回コース、33回提案コース		第30回～32回コース	
コース候補			
コース変更の提案	・ギリギリのスケジュール展開に余裕を持たせたい ・生徒の体力が低下しており隊列が伸び、重要な地点でのバイクの誘導が間に合わない		
距離	約25.5 km		約27 km
所要時間	-		+18分
安全	?	・歩道の状況を再確認する必要がある。	○ ・バイク隊の案内が間に合わない箇所があるため若干有り
満足感	○	・より完歩しやすいため、生徒の達成感UP	◎ ・30 kmという大台に近いので、生徒の満足度UP、知名度UP?
近隣	△	・個人住宅通りを通過 →下見で有効なルートを検証していく	△ ・マンション前を通過
休憩所	◎	・グループの間隔を現在の40分間隔から45分間隔にできるため、休憩所での同行が待機する可能性が少なくなる。 ・富勢東⇒十余二の休憩所の移動時間が少ないため、B班の十分な事前準備が必要になる。 ・休憩時間のプラスとゴールが若干早まるため、A班の展開に調整が必要	○ ・富勢東⇒十余二の休憩所の移動時間を十分確保できる。
同行	○	・十分辛い。 - 最後は散歩程度の速さに落として	○? ・より辛いのは確か
バイク	◎	・紅龍閣及びそれ以降でより良い誘導が出来る。	△ ・誘導が間に合わない。
救護	○?	・少しは減るのでは?	○
その他			

平成 28 年度 第 9 回こどものつどい部会議事録

平成 28 年 12 月 18 日 (日) 10:00～

場所：青少年センター

- * 出欠確認 参加者 29 名
- * 会長挨拶
- * 副部長挨拶
- * 配布資料 ①「第 8 回こどつど部会議事録」 ④会計報告
 ②「来場者アンケートまとめ」
 ③「スタッフアンケートまとめ」

議 事

1 実施報告

(1) 参加状況

* 詳細は別紙およびサイボウズ参照

	1 日 目	2 日 目	合 計
来場者	5 0 3 名	6 7 6 名	1, 1 7 9 名
有料入場者	4 2 0 名	5 6 9 名	9 8 9 名

・子どもスタッフ … のべ 3 名

(2) 来場者アンケートデータ報告

* 別紙およびサイボウズ参照

(3) 相談員アンケートデータ報告

* 別紙およびサイボウズ参照

(4) 会計報告

* 別紙参照

立て替え金返済を行いました

2 各担当の振り返り

(1) 宣伝

ポケティ：相談員負担大のため、中止方向で

ポスター&チラシ：デザインより説明重視で

チラシ配布先：町内会掲示板も視野に

マスメディア：反響大で継続方向（五中新聞屋に知り合いで折り込みも！？）

(2) 来場者誘導

トランシーバー不具合、人員不足などあったので、事前準備を十分にやる

貼り紙効果ありで、来年は集合場所も継続方向で

協力者、ブースもありながらよく協力してくれた。

(3) 受付・救護

時間帯により多少待たせることはあったが、許容範囲ととらえている。

更なる待ち時間解消に来場者記入用紙を書きやすいように改善中。

配付グッズまとめ、立て看板は来年にも生かしたい。

(4) 装飾

相談員皆の協力、頑張っている姿が全体的にいい影響を与えてくれたことに感謝。
 来年度はさらによく工夫をした装飾にしたい

（生涯学習課から装飾に関して諸注意連絡ありました）

3 各学区の振り返り…次回部会までに別紙へまとめて来てください。

- (1) 子ども対応数
- (2) 準備数と使用数（主に工作系）、材料の残数
- (3) 運営上の工夫、課題等

4 来年度に向けて

（来年度 11/1～1/31 多目的室屋根工事のため、多目的室のみ使用不可）

→それ以降、工期延期（6月～10月）の話が浮上

・開催時期・開催場所

こどつど役員案は、まつりの周知目的優先で本年度と同じ時期・同じ場所
ただし、多目的室が使えないというデメリットはある。

・日数

子どもたちに広く参加してもらうため、第10回同様2日間を考えている。

・内容

場所に制限があるため、外部団体には声掛けしない予定

・その他

工事中であるので、安全面の配慮が必要。

ただし、センター閉鎖ではないのでセンターで開催可能であるとの役員判断。

もしほかの会場を視野に入れるなら、1月から予約申請が必要なので、学区の意見をまとめていただき、こどつど役員に連絡してもらうことにした。（部会後確認メール送信）

5 その他

(1) 後片付け（部会后）

(2) ツリーハウス解体式

平成27年12月18日（日）13:00～ キャンプ場

執行部主導の豚汁懇親会も併せて

6 次回部会

平成29年2月12日（日） 10:00～ 青少年センター

平成 28 年度 第 10 回こどものつどい部会議事録

平成 29 年 2 月 12 日 (日) 10:00～

場所：青少年センター

*出欠確認 24名

* 会長挨拶

*部長挨拶

*配布資料 「第9回 部会議事録」 「第11回 まつり開催概要」
「平成29年度こどつど年間予定（案）」 「会計報告書」

議 事

1 第10回のこどつど振り返り（ディスカッション）

- ・学区ごとの振り返り発表 学区代表からそれぞれ発表
いくつかの学区から、BGMの要望あり。

2 第10回わんぱくこどもまつり会計報告

*別紙参照

余剰予算で来年度の学区材料など買えるのか・・・質問あり

3 平成29年度わんぱくこどもまつり実施概要(案)検計

*別紙参照

センター工事時期が6～10月に変更になり、例年通り11月実施可能に
ただし、市長選挙が10、11月辺りに予定（4月に日程決定？）

4 平成29年度こどつど部会開催予定(案)

*別紙参照

*10、11月の部会は、市長選挙のため日程変更の可能性あり

*新年度こどつど部会運営について

板津副部長が新部長に推薦（部員の拍手をもって承認されました）

新副部長を公募します（次回部会で希望者は立候補、または連絡を）

5 倉庫片付け

器具庫片付けに伴い、使っていない衣装箱が出てきました。

- ・レジだこセット
 - ・エアカーリングセット
 - ・スタンプラリーセット
 - ・マーブリングセット
 - ・子供用ヘルメット
 - ・紙漉きセット
 - ・スライム作りセット
- …良かったら次年度学区ブースにどうぞ

6 役割担当について

次年度も本年度と同じ役割ではどうか？ 変更希望者は別途連絡を

第11回「わんぱくこども祭り」開催要項(案)

1 主旨

日頃経験できないような多くの企画や体験の場を提供することにより、子どもたちの視野の拡大や仲間とのふれあい、助け合う気持ちを養うなど、地域の子どもたちの成長へ寄与することを目的とします。

2 期日及び会場

平成29年11月25日(土)・26日(日) 10:00～15:00 雨天決行
柏市青少年センター

3 参加対象

市内在住の小学生及び保護者

4 内容

館内でのブースでイベントを開催

5 携行品

飲み物、上履き

6 参加費

100円(小学生以上一律。保険代を含む)

7 問い合わせ

柏市教育委員会生涯学習課

(〒277-8503 柏市大島田48-1)

Tel: 04-7191-7393

Fax: 04-7190-0892

8 主催

柏市青少年相談員連絡協議会

9 後援

柏市教育委員会

10 その他

独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」

平成29年度 こどものつどい部 年間予定表（案）

回	日付	曜日	時刻	場所	概 要
1	2017年4月16日	日	定期総会 開催後	青少年センター	わんぱくこども祭り概要説明、役員紹介、連絡網確認、開催要綱説明
2	2017年6月11日	日	10:00	青少年センター	前回の反省点確認、ブース計画書・相談員出欠表配布、役割分担決定 (学区ブース内容、場所、出欠表：次回部会までに宿題)
3	2017年7月9日	日	10:00	青少年センター	ブース内容調整・確定、ポスター・チラシ案検討、相談員出欠集約
4	2017年9月10日	日	10:00	青少年センター	相談員用プログラム案検討・全体準備物提示と確認
	2017年10月上旬				ポスター・チラシ配布
5	2017年10月29日	日	10:00	青少年センター	来場者用パンフ案提示、相談員パンフ配布、受付誘導学区割振り、 装飾等準備、学区ブース&相談員出欠再確認
6	予 備		10:00	青少年センター	準備状況最終確認、前週準備、相談員パンフ配付確認
前日	2017年11月23日	木	10:00	青少年センター	事前準備
祭 り	2017年11月25日	土	10:00	青少年センター	わんぱくこども祭り（1日目）
	2017年11月26日	日	10:00	青少年センター	わんぱくこども祭り（2日目）
☆	2017年12月2日	土	19:00	未 定	大人のつどい（わんぱくおとなまつり）
7	2017年12月17日	日	10:00	青少年センター	振り返り、アンケート集計報告、後片付け等
8	2018年2月18日	日	10:00	青少年センター	後片付け、次年度実施概要検討、年間予定案提示